

小児2型 糖尿病

監修 後藤 由夫 先生（東北大学名誉教授）

No.33

今日のポイント

1. はじめにお伝えしたいこと
2. 糖尿病という病気
3. 小児2型糖尿病の
特徴や注意点
4. 糖尿病と言われたら
どうすれば良いのでしょうか？

1. はじめにお伝えしたいこと

糖尿病のことを無視しないでください（この先ずっと）

そのわけは・・・

- 糖尿病は、自覚症状がないまま進行し、症状に気付いたときにはもうかなり重症になってしまっている可能性が高いから
- 今のうちなら、治療も決してそんなに大変なことではないから



2. 糖尿病という病気

- **糖尿病では、尿に糖が出る(尿糖検査が陽性になる)ことが多い**

ただし、尿糖検査が陰性でも、糖尿病のこともある

- **糖尿病は、正しくは「血糖値が高くなる病気」**
血糖値が高い状態「高血糖」をそのままにしておくと
将来、合併症が起きてしまう

- **合併症は、起き始めると、今の医学では治療が困難**
合併症を起こさないために、血糖値が高いとわかったら
糖尿病と診断して治療していく

結論 糖尿病と診断されたら、治療を欠かさないことが一番良い方法

3. 小児2型糖尿病の特徴や注意点

1. 自覚症状がほとんどないため
著しい高血糖になる1型糖尿病
よりも治療がおろそかになりやすい

▶ 合併症発症の頻度が高い傾向がある



2. 病気に対する保護者の理解が重要

▶ 保護者の理解度が、子どもの治療を左右する

3. 肥満傾向が強い。インスリン自己分泌は、比較的よい

▶ 体重が増えないようにする。動脈硬化抑制の配慮も必要



4. 体の成長にあわせて、食事の量などを
調整する必要がある

▶ 小児科医のアドバイスを受ける

5. 成長とともに、治療の主役を保護者から
本人へ移していく

▶ 理解力にあわせて、糖尿病の知識を増やす



4. 糖尿病と言われたら、どうすれば良いのでしょうか？

食事療法について

- おやつを少なく
- ジュースは水か糖分のないものに変える
- 毎回30回以上かむ
- 夕食後は食べない
- マヨネーズ
バターの量を少なくする
- 味付けを薄くする
- 偏食をしない
- 一人で食事をしない
(させない)



運動療法について

- 家の中の遊びより、屋外で遊ぶ

薬物療法について

- 薬が必要なくても、通院は必要

治療目標について

- HbA1cをめやすに



今日のまとめ

- 1. はじめにお伝えしたいこと**
「糖尿病のことを、この先ずっと、無視しない」
- 2. 糖尿病という病気**
糖尿病は、高血糖になる病気
高血糖をそのままにしておくと、合併症が起きてしまう
合併症を起こさないために、糖尿病を治療する
- 3. 小児2型糖尿病の特徴や注意点**
自覚症状がないため、治療がおろそかになりやすい
病気に対する保護者の理解が、子どもの治療を左右する
体重管理がポイント。動脈硬化にも配慮を
体の成長にあわせて、食事量などを調整する
子どもが自分で治療を続けられるようにする
- 4. 糖尿病と言われたら、どうすれば良いのでしょうか？**
食事についてのいくつかのアドバイス
HbA1cで治療状態をチェックしていく

クイズで確認!! 今日のまとめ

第1問

糖尿病ってどんな病気？

ア. 尿に糖が出る病気

正解

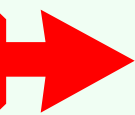
イ. 血糖値が高くなる病気

クイズで確認!! 今日のまとめ

第2問

2型糖尿病の治療は、いつまで続ける？

正解



ア. ずっと続ける

イ. 尿糖が陰性になるまで

ウ. 血糖値が下がるまで

クイズで確認!! 今日のまとめ

第3問

2型糖尿病の薬物療法は、いつまで続ける？

正解 →

- ア. 血糖コントロールが目標に到達して、医師が、薬は必要ないと判断するまで
- イ. 尿糖が陰性になるまで
- ウ. ずっと続ける

クイズで確認!! 今日のまとめ

第4問

同じ家族内に、糖尿病の人が複数いることが多いのは、1型糖尿病と2型糖尿病のどちら？

ア. 1型糖尿病

正解 →

イ. 2型糖尿病

クイズで確認!! 今日のまとめ

第5問

家庭で作る食事。糖尿病のお子さんのために別の食事を作ったほうがいい？それとも同じ食事のほうがいい？

ア. 治療が必要な子どものために面倒でも、毎回1人分だけ別のメニューの食事を作る

正解 →

イ. 食べる量をしっかり守れば、ほかの家族と同じメニューの食事でよい

糖尿病セミナーNo.33

小児2型糖尿病

おわり